

大田原市の生涯学習に関する市民意識調査結果

I 調査の概要について

1 調査の目的

市民の生涯学習の状況や要望を把握し、次期生涯学習推進計画策定(令和4年3月策定予定)の基礎資料とする

2 調査の設計

- (1)調査地域 大田原市内全域
- (2)調査対象 令和2年11月1日現在 満20歳以上の男女個人
- (3)抽出方法 層化無作為抽出 1,200人
20代・30代・40代・50代・60代・70代以上の男女別 各100人
- (4)調査方法 郵送による配布・回収(無記名)
- (5)調査期間 調査基準日:令和2年12月1日(12月1日~15日を調査期間とする)
- (6)集 計 大田原市教育委員会生涯学習課 生涯学習係

3 回収結果

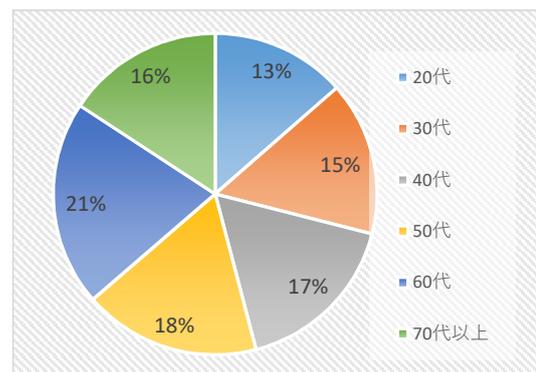
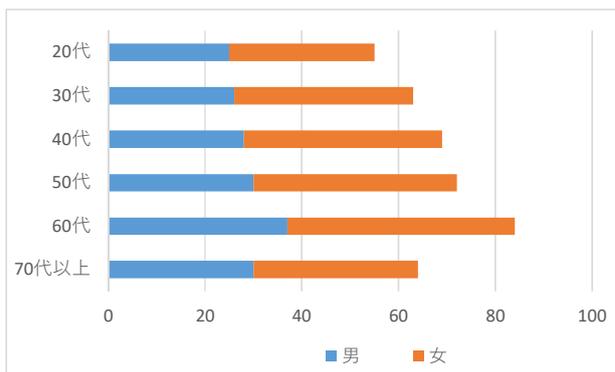
回収件数及び回収率 回収件数:408件 回収率:34%

II 回答者について

1 年代別・性別構成比

	男	女	計
20代	25	30	55
30代	26	37	63
40代	28	41	69
50代	30	42	72
60代	37	47	84
70代以上	30	34	64
全体	176	231	407

無回答 1



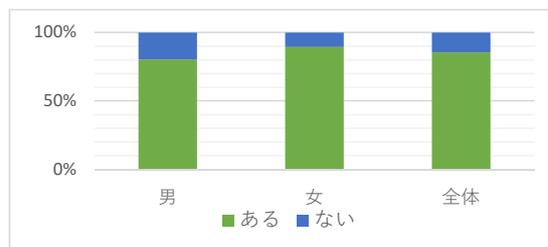
Ⅲ 調査結果の内容について

1 生涯学習の認知度と実践状況について

【設問】あなたは「生涯学習」という言葉を聞いたことがあるか

	ある	ない	計
男	142	35	177
女	206	24	230
全体	348	59	407

無回答 1

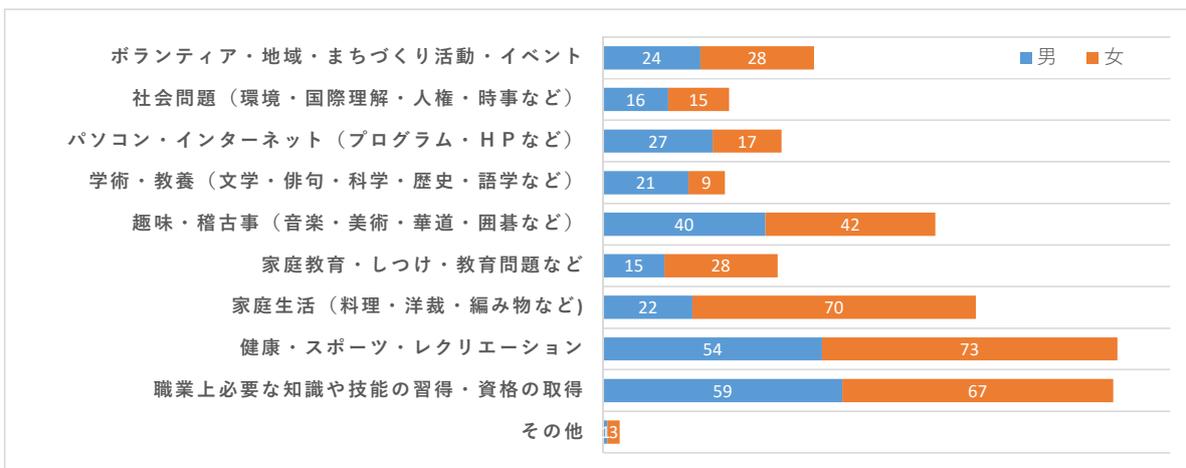


生涯学習の認知度は、全体で85.0%と、前回(平成25年:83.1%)、前々回(平成20年:86.8%)と比較しほぼ同じ割合となっている。女性(89.2%)のほうが男性(80.2%)より認知度が高い。令和3年度の指標目標値90.0%に向け、さらに周知を図りたい。

【設問】あなたは、この2年くらいの間にどのような生涯学習(活動)を行ったか(複数)

	行った	行わなかった	計
男	124	53	177
女	157	72	229
全体	281	125	406

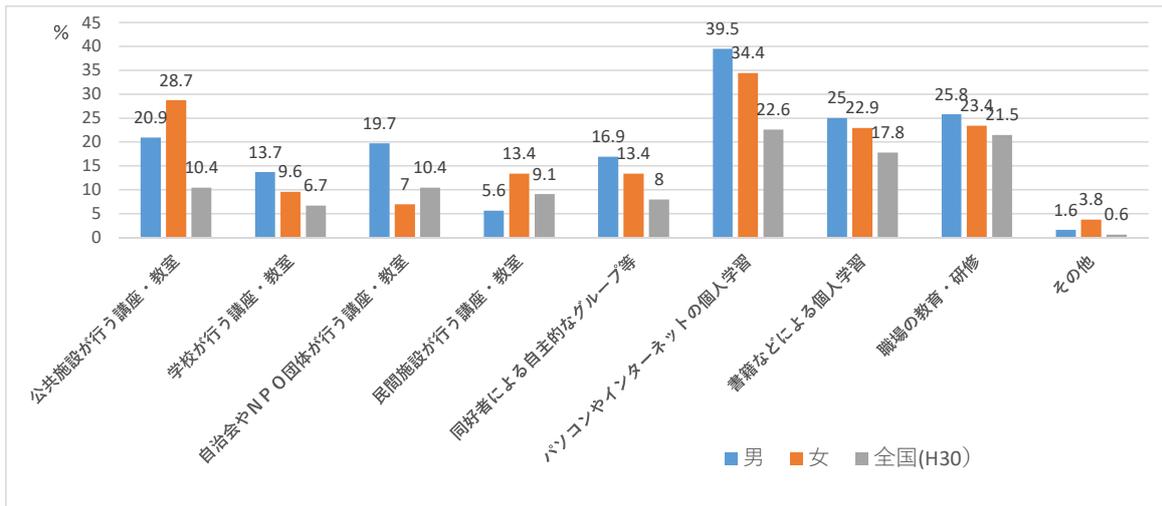
無回答 2



生涯学習活動を行った方は全体で68.9%と、前回の調査値76.6%を大きく下回った。学習内容の主なものは、前回と同じく、『健康・スポーツ・レクリエーション』が多い。今回は、特に『職業上必要な知識や技能の習得・資格の取得』が多く、変容する社会への適応のための生涯学習の大切さが伺える。これは全国的な傾向とも一致する。前回と比較し『パソコン・インターネット』も増加している。『パソコン・インターネット』『学術・教養』と『家庭生活』『家庭教育・しつけ』では、男女差がある。

【設問】あなたは、どのような場所や形態で学習や活動を行ったか(複数)

無回答 3

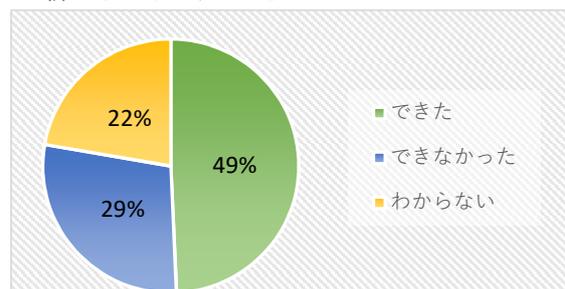


前回は公民館・図書館・生涯学習センター等の公共施設での学習が全体で34%と1位であったが、今回はパソコンやインターネット書籍などを利用した個人学習が大きく増加している。現在の社会状況が大きく起因していると考えられるが、学びのツールとしてインターネット等の活用が定着しつつあると思われる。一方、公共施設の生涯学習活動の場としての役割も大きく、学習環境の整備が推進されている。

【設問】あなたは、生涯学習(活動)を通じて、人や地域との新たなつながりができたか

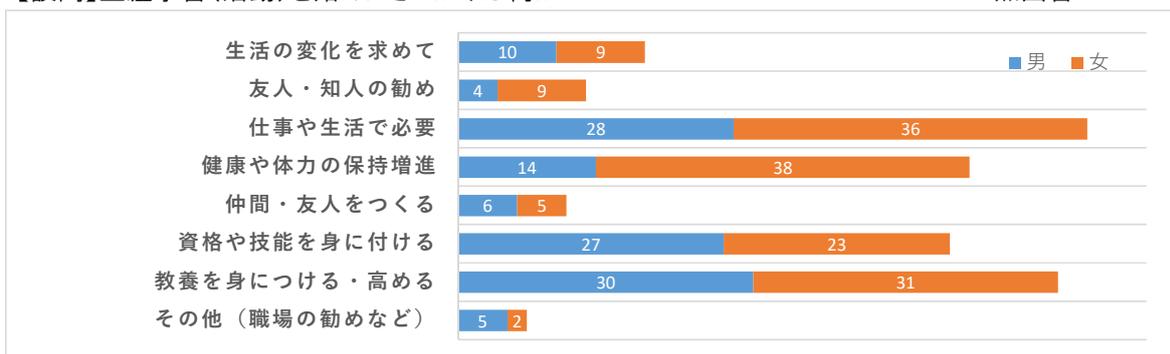
	できた	できなかった	わからない
男	61	34	29
女	76	45	33
全体	137	79	62

無回答 1



【設問】生涯学習(活動)を始めたきっかけは何か

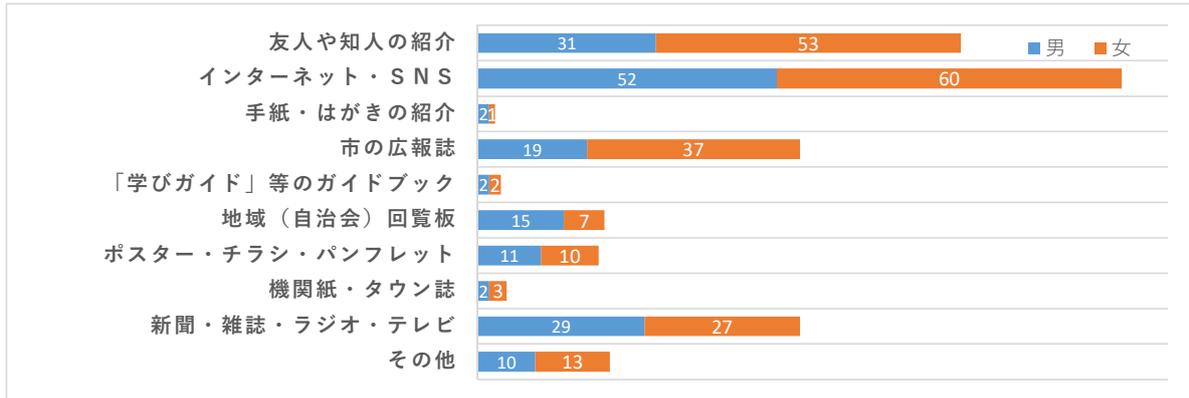
無回答 2



生涯学習活動を通して半数の方が、新たな「絆」が生まれている。前回までは、『健康や体力の保持増進』『教養を身に付ける・高める』『資格や技術を身に付ける』が、きっかけの1・2・3位であったが、今回の調査では、『仕事や生活で必要』が1位となった。市民が社会や家庭生活を継続するうえで必要なものとなってきている。

【設問】あなたは、生涯学習(活動)の情報を何で知ったか(複数)

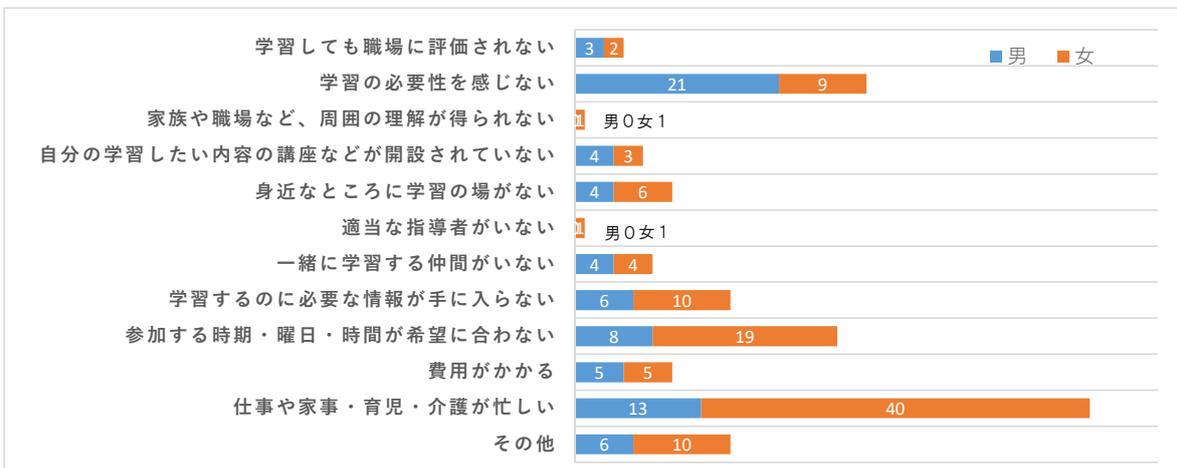
無回答 4



学びの形態の多様化に伴い、情報収集の方法も多様化している。『インターネット・SNS』からの情報収集が1位だが、前回1位の『友人・知人の紹介』という、人と人のつながりから情報を得ているケースは現在も多く、2位となっている。

【設問】あなたが、生涯学習(活動)を行っていない理由は何か(複数)

無回答 2



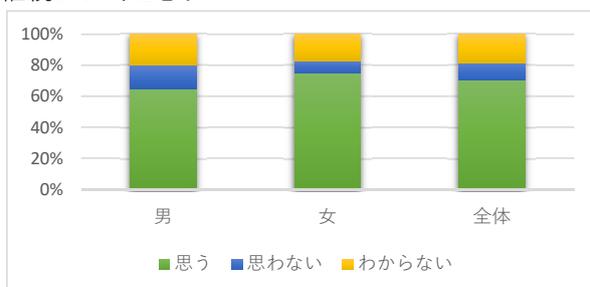
『仕事や家事・育児・介護が忙しい』を42.4%の方が行えなかった理由として挙げている。解決の一助として、講座の時間帯や場所の設定の工夫などが考えられる。また、結果に男女差があるのが大きな特徴となっている。

2 学習意欲・実践意欲について

【設問】あなたは、今後生涯学習(活動)を行いたい(継続したい)と思うか

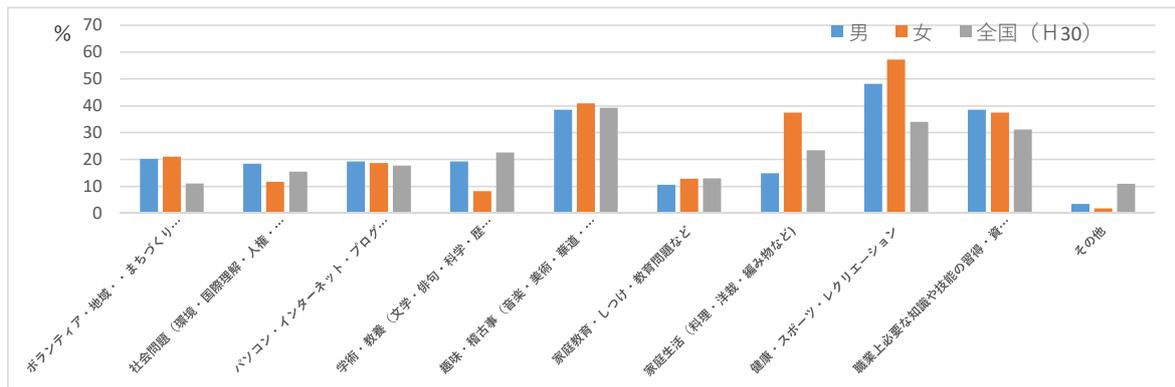
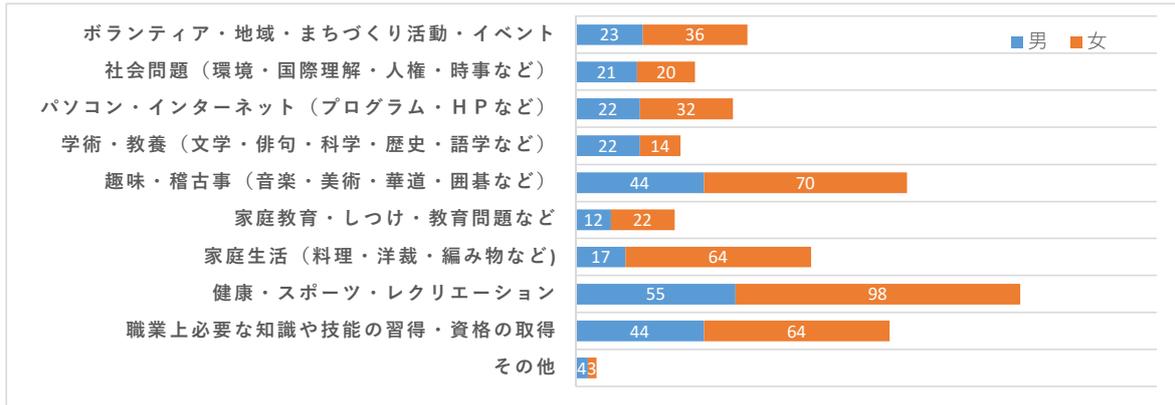
	思う	思わない	わからない
男	114	26	35
女	171	19	39
全体	285	45	74

無回答 4



【設問】あなたが、これから生涯学習(活動)したいものは何か(複数)

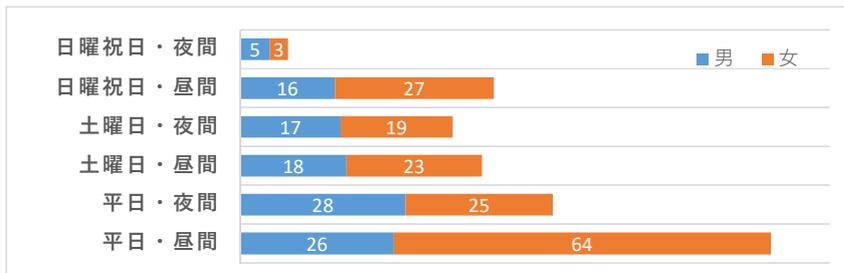
無回答 3



前回と同じく『健康・スポーツ・レクリエーション』が1位で、健康に対する関心が高い。『パソコン・インターネット』が前回の8.0%から18.9%と大きく増加し、情報化社会への適応を表している。全国と比較し『ボランティア・地域・まちづくり活動・イベント』が多いが、全体的な傾向はほぼ同じで、様々な分野での学習が望まれている。

【設問】生涯学習(活動)するのに最適な時間帯はいつか

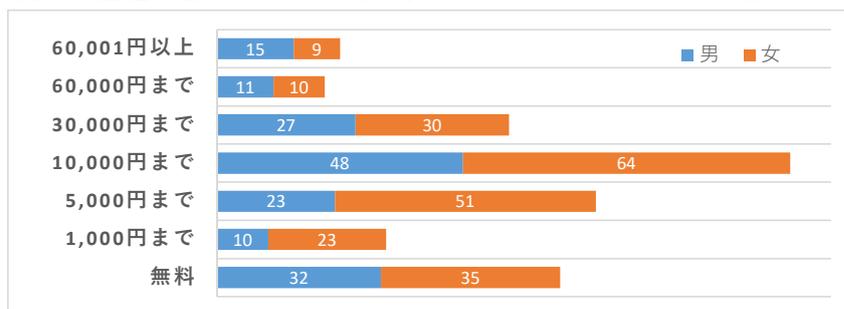
無回答 13



前回の調査結果と同様に、昼夜を合わせると52.8%が『平日』の活動を希望し、特に女性は、『平日・昼間』の希望が多い。

【設問】生涯学習(活動)のため費用(年額)はどのくらいか

無回答 20



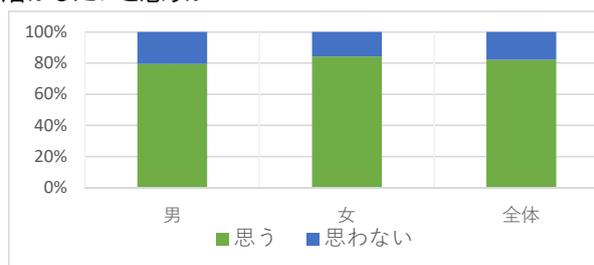
前回の調査結果と同様に、年額10,000円以内が70.1%を占め、無料を希望する割合も16.4%と微増している。学習活動を行いたいが、できれば経済的な負担を抑えたいことが伺える。

3 学習成果の活用について

【設問】生涯学習(活動)で得た知識・技能・経験を活かしたいと思うか

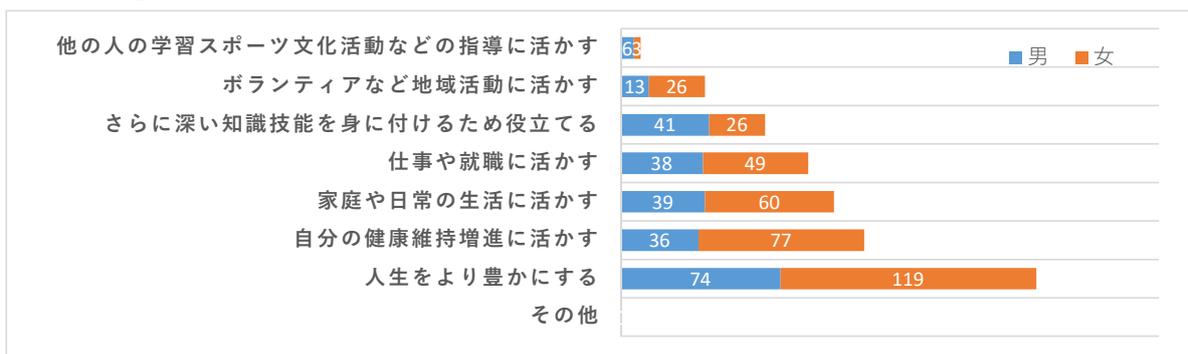
	思う	思わない
男	136	35
女	191	36
全体	327	71

無回答 10



【設問】生涯学習(活動)で得た成果をどのように活かしたいか(複数)

無回答 2



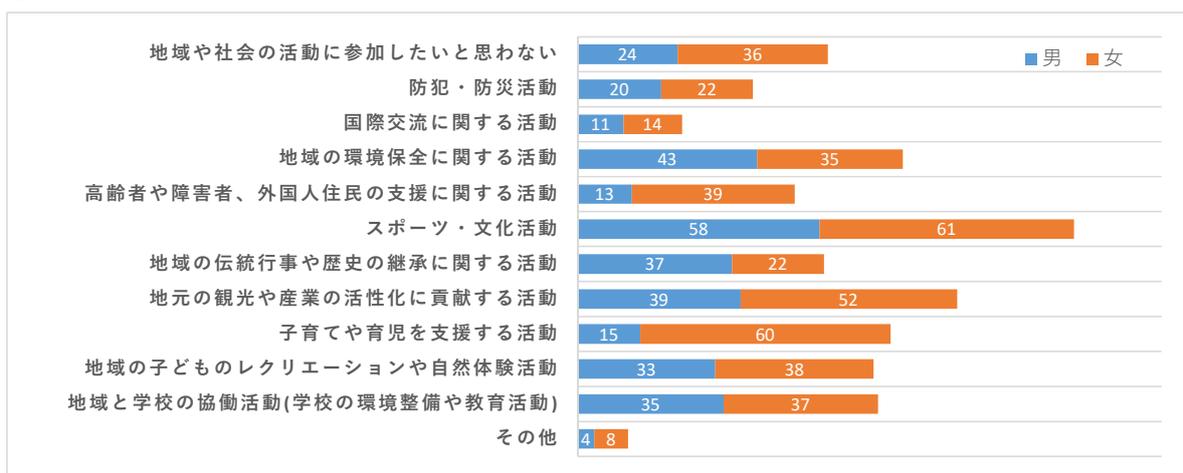
『学習活動の成果を活かしたいと思う』は全体の80.1%で、前回の72.2%より増加している。ほとんどの市民が、何らかの形で成果を活かしたい今後につなげたいと考えている。

活用の方法としては、『人生をより豊かにする』が59.0%と全国平均の50.5%を上回っている。『仕事や就職に活かす』や『ボランティアなど地域活動に活かす』は、全国平均より低いが増加傾向がみられ、社会参加の意欲の高まりが伺える。

4 地域・社会での活動について

【設問】あなたは、地域・社会でどのような活動に参加したいか(複数)

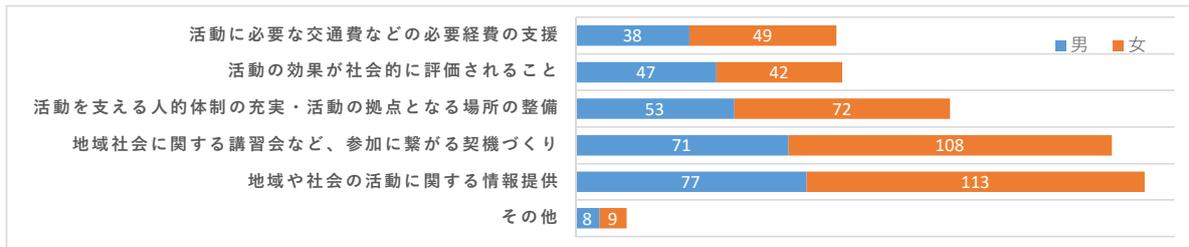
無回答 14



『活動に参加したいと思わない』は全体の14.7%で、81.9%が活動への参加の意欲を示し、参加したい活動内容は多岐にわたる。これらは全国平均と同じ傾向を示している。また、参加したい活動内容は、生涯学習として行っている(行ってみたい)内容の傾向とリンクし、学びの活用への意欲の高さを表している。

【設問】多くの人が地域・社会の活動に参加するのに必要な事は何か(複数)

無回答 18

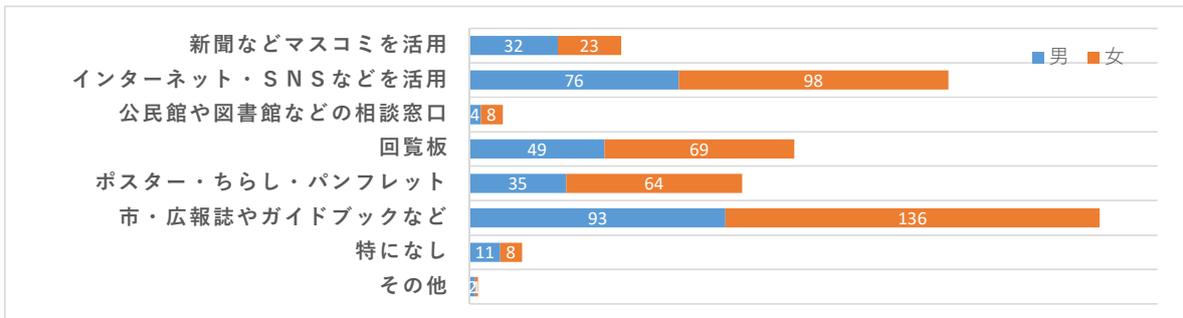


4割以上が、社会活動の情報提供と、活動参加のためのきっかけとなる地域や社会についての講習会等の実施を挙げている。参加の意思はあるもののその方法を模索している場合も多く、「ひと・もの・こと」の整備が望まれている。

5 生涯学習施策への要望について

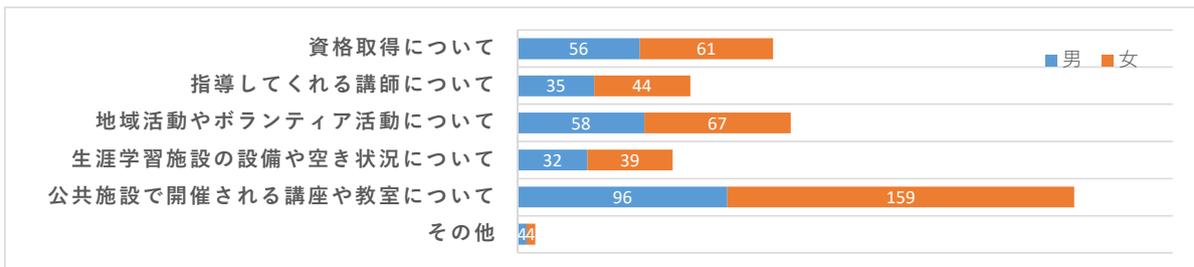
【設問】生涯学習(活動)の情報提供はどのような方法が良いか(複数)

無回答 6

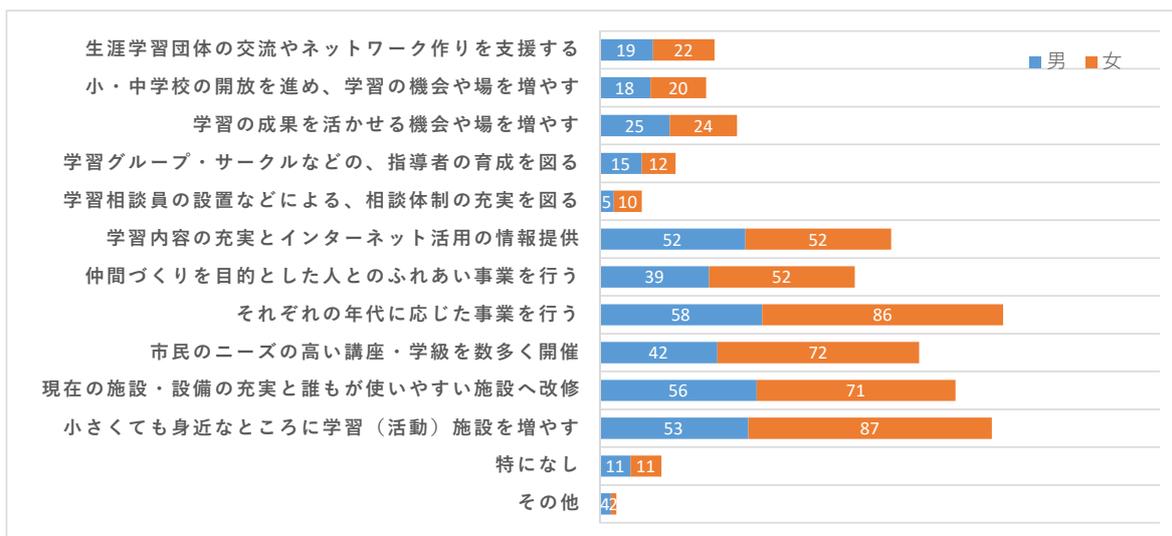


【設問】生涯学習(活動)についてどのような情報が知りたいか(複数)

無回答 20



公共施設での生涯学習活動の情報への関心が高い。従来の市・広報誌やガイドブック・回覧板にあわせ、いつでも情報を手軽に入手できる手段として、HPやSNSなどのインターネット活用による情報発信のニーズが大きくなっている。



様々な世代から、施設設備・情報提供・講座内容・事業の在り方等、多くの意見が出ている。
 今後、生涯学習活動の意味が大きくなっていく中で、市生涯学習推進計画の3つの基本目標、学習機会の充実・学んだ成果を活かす仕組みづくり・地域づくりをさらに推進したい。

市民の皆様のご協力により、次期大田原市生涯学習推進計画策定に向けての意識調査を、実施することができましたこと、厚く御礼申し上げます。
 設問へのご回答や、本市の生涯学習推進についてご記入いただいたご意見やご要望等を生かし、第4期計画(令和4年3月)の策定を進めてまいります。